

◆令和4年度 進路指導関係の少し詳しい資料◆

◆このような生徒さんが上水高校に向いています。

(一) 一度しかない大切な高校生活だから、勉強も部活動も学校行事も頑張りたい。

→進学・特活型の上水なら、高いレベルで両立できます。

(*o*) 異文化交流などのアクティブでグローバルな体験を高校に入ってすぐやりたい。

→アメリカンサマーキャンプ(1年次7月予定)、進路探索研修旅行(2年次12月予定)は全員参加です。

(▽) 自分の適性に合った進路を決めて、ミスマッチのないよう、目標に向けた努力がしたい。

→進路ガイダンスや面談、受験指導も充実。特に、小論文や公務員対策の特別講座もあります。

(Ⅱ) アクティブラーニング型の授業や生きた体験を生かして、表現力を身につけ、将来の自分の進路を考えたい。

→市民講師による教科「表現」は本校だけ。また企業や官公庁とのコラボ授業なども実施しています。

∈0^⇒ 丁寧な少人数指導の授業によって、得意分野を伸ばしつつ、苦手な分野も克服したい。

→本校は、習熟度別の少人数授業が多く、自由選択科目は平均25人程度で効果的です。

◎ 将来、社会人として活躍するために、コミュニケーション能力や実習力を伸ばしたい。

→多様に触れる機会の多い上水では、あらゆる場面で磨くことができます。

◆16期の卒業生(2022年3月卒)の進路の特徴と指導について

①進路先で見ると

大学進学は約71%、短期大学進学は約2%、専門学校等進学は約18%、民間就職はわずかです。消防・自衛隊など公務員試験にも合格し、就職しました。

②進路先を分野で見ると

社会科学系49名(21%)、人文科学系48名(21%)、理工農系31名(13%)、看護医療系31名(13%)、教育体育福祉系16名(7%)、家政衛生系10名(4%)、芸術文化系等21名(9%)という内訳でした。本校は特に、看護医療系志望者の多さが目立ちます。また、情報系や経済経営系が増加傾向です。

③進路決定率で見ると=依然として高い決定率(94%)となっています。

現役志向が強い本校らしさを維持しています。看護医療系は昨年度も希望者全員が進路決定しました。特に川崎市立看護大学と国立看護大学校、通学範囲の国公立に二人進学したのは快挙です。看護医療系希望者に対する、本校のカリキュラムや特別講座が効果的に機能したと考えています。看護医療系なら「上水」です。

④受験パターンで見ると=大学一般受験者のべ総数が増加傾向でしたが、コロナの影響で減りました。

2022年3月卒業生は、大学進学者163名(一般受験は108名、学校推薦・総合型選抜等は55名)でした。2021年3月卒業生は、大学進学者176名(一般受験は98名、学校推薦・総合型選抜等は78名)でした。

⑤公募推薦・総合型選抜入試の高い合格率=約70%の合格率(指定校を含まない数字です)

川崎市立看護大学、上智大学、立命館アジア太平洋大学、武蔵大学、國學院大學、明治学院大学、専修大学、東京薬科大学、東洋大学などを始め、文学・国際系、医療薬学系など高倍率の入試にも多数合格しています。推薦系入試は最近志願者が増えて、激戦です。ゆえに丁寧な指導が必要とされています。こうした実績は、生徒の努力の結果ですが、本校の全校体制の進路指導が有効だったと考えています。1年次からの履修ガイダンスや進路ガイダンス、模擬面接指導、外部講師による小論文講座(大学でも講義されている小論文のスペシャリストの先生です)などに加えて、さまざまなキャリア教育的な実践指導が結実しました。

⑥上水生は進路に関するアプローチが早い

単位制のカリキュラムゆえ、進路に関して早くから具体的に考える本校の良き伝統があります。学校推薦・総合型選抜による合格者も多く、比較的少ない人数で一般入試での合格を伸ばしています。

◆ 主な進路行事(予定) コロナ禍でやむを得ず変更する場合があります。

1 年 次	4月	学力診断テスト	今後の指導の資料とします	豊かな体験
	4月	進路適性検査	自己の進路適性(学力と性格)について分析します	
	5月	学力診断テスト返却指導	自分の力を知ることができます	
	7月～8月	看護医療系体験	実際に医療機関で実習します	
	7月～8月	夏期上級学校体験	大学等のオープンキャンパスや模擬授業等に参加します	
	7月～8月	各種ボランティア体験	保育園での実習やイベントの補助等をします	
	7月～8月	各種地域貢献活動	新教科「人間と社会」の体験活動を各自が行います	
	9月	履修ガイダンスと個別相談	来年度の履修選択決定についてサポートします	
	11月	校内模試	全国偏差値が出ます	
	12月	学習指導講演会	模擬試験の分析や学習方法についての講演会です	
	1月	GTEC	英語の多面的な実力を測り、学習意欲を向上させます	
	1月	校内模試	全国偏差値と志望校判定が出ます	
	2月	小論文模試	自分の主張を小論文にします	
	3月	進路ガイダンス	2年次に向けて目標を具体化します	
	2 年 次	4月	年度当初進路ガイダンス	
4月		学力診断テスト	成績の伸びを見ます	
6月		職業分野別進路ガイダンス	仕事の分野について学びます	
7月		校内模試	全国偏差値と志望校判定が出ます	
7月～8月		看護医療系体験	実際に医療機関で実習します	
7月～8月		夏期上級学校体験	大学等のオープンキャンパスや模擬授業等に参加します	
7月～8月		各種ボランティア体験	保育園やイベントの補助等をします	
9月		履修ガイダンスと個別相談	来年度の履修選択決定についてサポートします	
10月		学部系統別進路ガイダンス	大学や専門学校の先生に来ていただき説明を受けます	
11月		校内模試	全国偏差値と志望校判定が出ます	
12月		GTEC	英語の3～4技能の実力を測ります	
1月		校内模試	全国偏差値と志望校判定が出ます	
2月		進学費用ガイダンス	将来の進学に備えます	
3月		ブリッジ交流会	卒業生から具体的な受験報告やアドバイスをしてもらい、在校生と交流します	
3 年 次		4月	年度当初進路ガイダンス	個別のきめ細かい指導について説明します
	4月～	進路ガイダンス	進路希望に応じて通年実施します	
	5月	校内模試	一般入試対策・偏差値の基礎資料	
	6月	志望校検討進路ガイダンス	最終的な志望校選択をします	
	7月～8月	看護医療系体験	推薦入試対策・現役の看護師のアドバイスも受けられます	
	7月～	小論文特別講座(約4回)	推薦AO総合型選抜対策・志望動機や提出書類の内容を高めます	
	7月～	三者面談	進路希望確認、受験手段の確定など、随時実施しています	
	7月～	エントリーシート添削指導	総合型選抜やAO入試対策・細かく個別指導します	
	9月	共通テスト説明会	共通テストで実力を発揮するためのプログラムです	
	9月～	模擬面接指導	推薦入試突破に向けた個別プログラムです	
	9月～	校外模試	繰り返し受験しながら実力をつけていきます	
	11月～	一般受験説明会・講演会	受験校を決め、効果的な計画を考えます	
	12月	出願進学説明会	GMARCHなどの偏差値上位校の担当者から具体的な受験情報を提供してもらいます	
	12月～	出願指導(出願計画・書類作成)	一般入試合格プログラム・個別指導をします	
	1月～	共通テスト事前指導	共通テストで実力が発揮できるよう、事前の指導をします	
1月～	共通テストリサーチ	共通テストの結果分析・個別指導をします		
1月～	各教科による個別指導・補習	一般受験に向けて、随時実施します		

◆ キャリア教育トピックス

本校で大切にしているものです。別の視点から客観的に進路を考え、授業以外での体験をすることで、学習意欲がさらに向上します。加えて、アクティブ・ラーニング的な体験により、将来の自己実現につながります。

● 全員対象の恒常的企画

① 1年次対象「進路ガイダンス」

3月に一年間の仕上げとして実施します。大学・短大・専門学校に多数参加していただきます。情報収集能力やコミュニケーション力を養いつつ、自己分析を通して進路探究していきます。

② 1・2年次対象「夢ナビプログラム」(株式会社フロムページ)

自分の興味・関心に沿った学問を探究できます。大学教授が各専門分野の講義を高校生にもわかりやすく動画にしています。さらに関連した複数の分野にもアプローチできるので、自分の関心について視野を広げることができます。専門的な学びへの導入に最適です。

③ 2年次対象「職業分野別ガイダンス」「学部系統別ガイダンス」

例年6月と10月の2回実施しています。その分野を代表する各学校の方々をお招きし、その分野の特徴や必要な適性、具体的な職業について、将来性や社会との関係、取得資格の説明、国家試験対策と高校での学びの関係等の説明を受けます。四年制大学・短期大学・専門学校・公務員・就職とさまざまな進路希望に対応できるように工夫しています。

④ 3年次生対象「志望校検討進学ガイダンス」「出願進学説明会」

6月に進路実現の大きなステップとして実施します。大学・短大・専門学校・学費相談など合計約60ブースで実施し、多様な進路希望に対応しています。総合型選抜や推薦入試の情報を効果的に得ることが可能です。

⑤ 効果的な模試の配置

1年次で2回、2年次で3回、3年次で5～7回、看護医療系は2～3年次にかけて7回実施しています。このほかに、1年次と2年次のスタート段階での学習到達度テスト、冬の段階でのGTEC(英語の4分野までの技能が判定できます)を実施しています。これらの情報を共有しながら、効果的な学習指導や進路指導に役立てています。

● 主体的な取り組みを引き出す各種企画があります(主なもの)

大学のオープンキャンパスに参加する

① 「看護体験」への参加(都内の施設に多数参加)

② 観光庁・金融庁・SMBCなどとコラボした外部講師による特別体験授業

③ 夏期体験活動(例:東京薬科大学夏休み研究実習・國學院大學経済学部リアル体験ツアーなど)

④ 東京都理学療法士協会主催病院現場体験への参加(理学療法の体験は貴重です)

⑤ 多摩地区専修学校主催「チャレンジプログラム」(理容美容・福祉・栄養・ホスピタリティ等の講座)への参加

⑥ 夏期ボランティアによる保育園体験・福祉施設体験

⑦ 大学と企業連携による高校生向け企画参加(例:東京経済大学主催 キャリアプログラム体験)

⑧ 大学の高校生向け職業理解講座参加(例:栄養士・管理栄養士基礎講座)

⑨ 「SDGsQUEST 未来甲子園」への参加 → 首都圏大会ファイナリストに選ばれました(高校生達が考えたSDGsのさまざまなアイデアの内容を競う大会です)

⑩ 各種作文コンクールへの参加(未来を守る作文コンクールで優秀賞を受賞しました)

⑪ 全国高校生MY PROJECT AWARD 2021 東京都Summitへの参加(「探究」に取り組んできた全国の高校生たちが集う、日本最大級の学びの祭典。本校生徒が表彰されました)

▼ その他、さまざまなキャリア教育コンテンツを紹介、実践指導しています。

◆ 上水高校 ここに注目

コロナ禍による生徒の不安に向き合いながら取り組んでいること(組み合わせて実施しています)

- ①Teamsを使用したオンラインによる生の授業等を実施して授業時数を確保しました。
- ②教員の手作りによる映像授業をYoutubeなどに配信しています。生徒の実力にぴったり合っています。
- ③ベネッセのClassiによる課題配信や、提出課題の採点、生徒同士の情報交換など活発に行っています。
- ④Classiの機能を利用した個別指導やアンケートの実施、進路情報の発信など随時実施しています。
- ⑤リクルートのスタディーサプリを用いたオンライン学習の奨励。(100名以上の生徒がやっています)

- 1 コロナによって一般受験の総数が減り、大学合格者数も令和2年度卒業生と比べて約2割弱減っています。
- 2 その中であって、偏差値で言えば、より上位の大学への進学者が増えています。

現役進学者数は、

2021年はGMARCH10名、成成明学獨國武8名、日東駒専24名でした。
2022年はGMARCH15名、成成明学獨國武17名、日東駒専15名でした。

- 3 看護医療系は決定率100%。進学者は、大学15+短大1+専門8=24名(昨年だけの数字です)。
- 4 昨年は厚生労働省所管の職業能力開発総合大学校(理科系の少人数実習が特徴)にも2名進学しました。
- 5 現役進路決定率はここ数年で89~94%。ほぼ全員が第一志望の分野です。

上水高校は単位制普通科ゆえ選択科目が多いので、指導の過程で生徒は比較的早めに志望する学部学科を決定しています。一般受験がメインになってきましたが、推薦入試向きの生徒は自分の適性に合った受験方法を選択しています。上水高校では、一貫したキャリア教育と丁寧な個別指導のもと、ミスマッチをできる限り減らすべく指導をしています。自分の志望する分野についてしっかり認識した上で、その分野の中で高い目標を持つように指導しています。ここ数年、高い志望校を考えている生徒が増加傾向にあります。

- 6 一年次生の後期から、希望者対象の英語特訓「勉強部」があります。(東進出身の外部講師による指導)

◆2022年3月卒業生の進路および関連情報について

2022年は、国公立大学に推薦入試で1名合格しました。難関の国立看護大学校にも一般受験で1名合格しました。

- ① 前者は運動部のキャプテンで、部活にも勉強にも全力投球。後者は最後まであきらめずに難関に挑戦し、合格しました。粘り強い指導をして本当に良かったと思っています。
- ② 共通テスト受験者の平均偏差値も徐々に上昇してきているので、GMARCHレベル以上の大学の合格者も増やすべく鋭意指導中です。
- ③ 看護系はもちろん、他の資格系の学部も好調です。薬学部もひとりを除いて全員進学しましたし、教育学部などの教員志望者も全員進学しています。資格系は現役進学が多いので進路決定させるべきです。
- ④ 本校は少人数の選択授業が多く、先生との心理的な距離が近いので、丁寧な指導を受けられますから理解度がさらに深まると思います。
- ⑤ 上水生は挨拶がしっかりでき、真面目かつコミュニケーション能力が高いので、進学先の大学等の先生方から高く評価されています。特にアクティブ・ラーニングに慣れていいますので、ゼミなどの授業で活躍できるようです。
- ⑥ オープンキャンパスや各種体験活動に積極的に参加する生徒が多く、合格後も目標に向けて努力します。

- ⑦ その結果、大学等に進学した後の就職活動もスムーズなようです。さらに進学先(大学等)からはオープンキャンパス等で、中心スタッフとして活躍し、来場した高校生に説明した等の報告を多数受けています。(コロナのため以前に比べてその機会が減っているのが残念です)